

令和3年6月11日

うきは市議会議長 中野 義信 様

厚生文教常任委員会
委員長 佐藤 湛陽

委員会調査報告書

令和3年第1回うきは市議会定例会に於いて、閉会中の継続調査申し出の所管事務調査を行ったので、うきは市議会委員会条例第36条の規定により、下記の通り報告する。

記

I. 認定こども園に関する調査

1. 調査期日 令和3年4月15日（木）
2. 調査場所 社会福祉法人 遊林福祉会 幼保連携型認定こども園 遊林愛児園
3. 出席者 厚生文教常任委員会7名
福祉事務所長 保育所係長 遊林愛児園長 議会事務局 計11名

4. 調査目的

遊林愛児園は、昭和24年5月5日に開園した私立の幼稚園である。平成20年4月1日認定こども園、平成27年4月1日幼保連携型認定こども園となった。この間も、平成11年5月12日子育てサークル“ゆうりんランド”を開講し、翌年4月1日にはうきは市より委託を受けて『浮羽町地域子育て支援センター“遊林ランド”』事業化、平成14年浮羽町地域子育て支援センター“遊林ランド”竣工し、平成17年にうきは地域子育て支援センター“遊林ランド”と名称を変更した。

しかし、旧園舎は昭和49年に建設され45年以上経過し老朽化が進んでいた。また、幼稚園から認定こども園へと時代の変化に応じ、受け入れを拡大したことから保育室の増設や活動するスペースの拡大を必要となっていた。

そこで、建替えが必要となり今回の新園舎改築となったものであり、令和2年に建替えが完了している。委員会として新園舎となった児童の健全育成と福祉向上を図る施設である遊林愛児園の現状を調査することとした。

5. 調査結果

施設概要

敷地面積	2,953.09 m ²	延床面積	1,217.27 m ²
財源内訳	認定こども園施設整備交付金（1号部分）		
	補助率（国）1/2（市）1/4（事業者）1/4		
	（交付金）補助基準額か対象経費のどちらか低い額に補助率を乗じたもの		
	国交付金 ①	54,595,000円	
	県補助金 ②		
	市補助金 ③	27,297,000円	
	事業者負担金 ④	27,300,043円	
	総額 ⑤	109,192,043円	
	福岡県保育所等整備事業費補助金（2・3号部分）		
	補助率（県）2/3（市）1/12（事業者）1/4		
	（交付金）補助基準額か対象経費のどちらか低い額に補助率を乗じたもの		
	国交付金 ①		
	県補助金 ②	166,647,000円	
	市補助金 ③	20,831,000円	
	事業者負担金 ④	62,492,984円	
	総額 ⑤	249,970,984円	

構造	鉄筋1階建て…多目的ホール・ランチルーム（112席）、職員室（2）、相談室多目的（WC）、調理室、研修室、食品庫、昼ほふくスペース室、沐浴室（WC）調乳室、洗濯室、音響、オムツ収納
----	--

※【幼稚園部分・保育所部分合計額】

1号部分⑤ + 2・3号部分⑤

109,192,043円 + 249,970,984円 = 359,163,027円

入所実績（遊林愛児園） 令和3年4月1日現在 (人)

認定区分	R3年	R2年	R1年	H30年	H29年	H28年
1号認定	21	24	24	29	26	24
2号認定	59	68	54	63	54	60
3号認定	46	37	23	32	27	30

遊林愛児園の特徴

- (1) 仏教教育：仏典童話、仏教行事。
- (2) 遊育：知育・徳育・体育をバランスよく育てる。
- (3) 食育：楽しく食べる・季節毎の野菜の観察や栽培、食前・食後のあいさつ、地産地消の野菜を使った給食・精進料理、正しいお箸の持ち方や食事マナーの指導。
- (4) 多彩な教育活動
 - ①音楽教室：季節の歌・童謡・合奏・リトミック・音階指導等【年中児、年長児/月2回】
 - ②水泳教室：暑さに負けない体力・体づくり、水難事故から身を守る【夏期のみ/週4、5回】
 - ③運動教室：発達年齢に応じて体幹を鍛える。（体の基礎づくり）【年中児、年長児/月2回】
 - ④ECC英語教室：英語に親しむ。【年少児～年長児/月1回】
 - ⑤主な行事：玉ねぎ植え・花まつり・父の日・遠足・プール遊び・七夕・夏のキンダーランド盆踊り・運動会・砂場遊び・お斎・お遊戯会等

主な質疑

Q：現在の園児数は、また、多い時の数は。

A：現在127名、8名途中入園予定。だんだん多くなる。昨年度は3月時点で143名となった。定員は140名であるが、2、3年コンスタントに定員を超えるようであれば、定員を増員するよう指示が県からあっている。あと5名は増やせる体制である。

Q：3歳未満児の保育料の標準な料金は。

A：園児の年齢より標準料金の違いはあるが、当園の良いところは、2歳児は有料であるが、満3歳になると無料となる。保護者の就労形態によるが、活用させていただいている。また、当園は幼稚園と同様に保育料を自分たちで徴収しなければならないが、3歳以上が無料となって負担はかなり減った。

Q：給食費及び延長保育の金額は。

A：給食費は基本的に市と合わせて4,500円で1号認定は土曜日登園しないので3,500円、当園は主食を提供しているのでプラス500円で、5,000円と4,000円となっている。延長保育は30分延長で50円、ただし、新2号の方は1日当たり450円以内還付される。そのため、16時に終わって19時まで3時間延長しても300円なのでほとんど無料。土曜日は500円だが、平日と平準化して2日で900円以内なら全額還付できるのでこれも無料となっている。

Q：幼保連携型認定こども園とのことだが、職員の方は保育士と幼稚園教諭の資格を両方持っているのか。

A：そのとおりで保育教諭と言いかをするが保育士の免許と幼稚園教諭の免許の両方を兼ね備えている職員のことを言う。市の保育教諭への支援に助かっている。また幼保連携型は主幹教諭、いわゆる主任2名分支援されるのが良い。ただ、カリキュラムを実施する必要で審査が県の保育課ではなく学事課で受けることになる。

Q：保育士の処遇が厳しいと聞かすが、人材不足や賃金に対する不満は。

A：県の監査では給与は良い方と言われている。人材については、保育時間等考えると準備等大変であるが、主幹やチームリーダー、学級編成職員の3名がサポートができる体制がとれている。厳しい面は、当園は日誌を幼稚園並みにしないといけないので、ITを活用して負担を減らすようにしているが職員は大変である。採用については、昨年、今年も1名ずつ入れている。ただ、給与については、福岡市と比較すると厳しい面がある。

Q：0歳児が3人に1人の先生で見ようになっているが、現場の先生方の意見はどうか。

A：やはり3人に1人は無理、1人に1人とか少ない方がいいので、連盟で要望は上げている。ただ、当園はサポートできる職員が3名いるので複数の担任をしてもらって対応している。

6. 所見

遊林愛児園では、6月1日現在0才児4名、1才児19名、2才児25名、3才児17名、4才児38名、5才児26名を受け入れ、充実した保育・教育でうきは市の幼児教育に寄与しています。

新しくなった施設は、新型コロナウイルス感染症が流行する前の設計であったがランチルーム、WC、荷物入れなど最新の施設にされていました。

また、安全面を考え角が丸くなっていることだけでなく、部屋の鍵がすべて高所にあり園児の手が届かないように工夫してあったり、サッシも下の部分は子どもがぶつかっても割れにくいように二重にアルミ板が貼ったりしてありました。

教育・保育の理念として仏教教育を掲げ、花まつりや盆踊りなどの行事や仏典童話などを通して、すべての命の尊さ、感謝の気持ちの心や慈しみの心、あるいは忍耐、自立、努力などの大切さを伝えながら子供たちの豊かな情操を育てることに力を入れてあり、ほかの保育所では見られない本法人ならではの独自の理念だと感じました。

そして、夏期の期間に、水泳専門のコーチを招き子供たちを水の事故から守るための水泳指導を12.5mのプールで行い、そのほかにも音楽教室ではリトミック、運動教室ではコーディネーショントレーニング、英語教室ではECCというように4～5歳児を中心に専門の先生を招き、教育が行われています。さらに、食育では野菜の収穫体験等も取り入れ、野菜作りを通して食を受ける感謝や喜びを知らせています。同じ敷地内に遊林学童保育所「遊林クラブ」を有し異年齢児交流も行っています。このように子供たちにとっても大変恵まれた環境の中での保育が期待されます。

以上、厚生文教常任委員会からの報告とします。